



いざゆかん、クラシック戦線へ



▲C.デムーロ騎手は4年ぶりのJRA・GI勝利だった。

2014年、ラジオNIKKEI杯2歳ステークス(GIII)が名称ならびに格付け変更でホープフルステークス(GII)に、そして2017年にGI昇格となった。その初代GI王者を目指す17頭が、4日前に行われた有馬記念の熱気はまだ残る中山競馬場に集結して覇を競った。

混戦模様という前評判のなか、一番人気はラジオNIKKEI杯京都2歳ステークスで2着となったタイムフライヤー

で、単勝オッズは4.2倍。そして、東京スポーツ杯2歳ステークスで2着に入ったモーリスの全弟ルーカス、札幌でのデビュー戦勝ちが鮮烈だったフラットレー、前走のデイリー杯2歳ステークスを制した名牝ビリーヴの仔ジャンダルム、2戦2勝で臨んできたサンリヴァルが単勝オッズ10倍以下でそれに続いた。

トライン、サンリヴァル、ジュンヴァル口らが先陣争いを繰り広げたため、レースはハイペースで進行。ルーカスは先行集団の後ろ、ジャンダルムとフラットレーは中団に位置し、これまで先行することが多かったタイムフライヤーは馬群の後方を追走した。大きな動きが出たのは3コーナー付近。先行勢が苦しくなったところを見計らって、中団から後方を進んでいた有力馬たちが馬群の外を通過してぐんぐんと位置を押し上げた。そして迎えた直線。サンリヴァルが内ラチ沿いで粘ろうとするが、ジャンダルムがそれを捉まえにかかる。すると、そのタイミングで大外から一気に伸びてきたのがタイムフライヤー。「手応えが良かったので、前が開くのを待って仕掛けました」というクリスチャン・デムーロ騎手のゴーサインを受けてジャンダルムに並びかけ、強靱な末脚で競り落とすと、1馬身¼の差をつけて“GI・ホープフルS”初代王者の座に就いた。

タイムフライヤーはジャスタウェイ、シュヴァルグランらを送り出したハーツクライの産駒。C.デムーロ騎手が「まだ幼いけれど、来年が楽しみな馬」というように、陣営は2歳の段階で皐月賞と同じ舞台、中山の2000mでGIを制して、今後に向けての大きな自信を手にした。父にヌーヴォレコルト(オークス)、ワンアンドオンリー(日本ダービー)に続く3つ目のクラシックタイトルを贈ることができるか、翌春に向けて注目を集めていくこととなった。



▲サンリヴァル(帽色・黄・左)がここで先頭に立つ。

第34回ホープフルステークス(GI)

12/28 中山競馬場 2000m(芝・右) 晴・良 17頭

| 着順 | 馬名 | 性齢 | 斤量 | 騎手 | 調教師 | タイム/着差 | 人気 | 通過順位 |
|----|-----------|----|----|--------|-------|--------|----|-------------|
| 1 | タイムフライヤー | 牡2 | 55 | C.デムーロ | 松田 国英 | 2:01.4 | ① | 15 16 16 9 |
| 2 | ジャンダルム | 牡2 | 55 | 武 豊 | 池江 泰寿 | 1 1/4 | ④ | 10 10 9 4 |
| 3 | ステイフリッシュ | 牡2 | 55 | 中谷 雄太 | 矢作 芳人 | クビ | ⑧ | 13 13 11 8 |
| 4 | サンリヴァル | 牡2 | 55 | 田辺 裕信 | 藤岡 健一 | 2 1/2 | ⑤ | 2 2 2 1 |
| 5 | ナスノシンフォニー | 牝2 | 54 | 吉田 隼人 | 武井 亮 | クビ | ⑩ | 16 15 14 12 |
| 6 | ルーカス | 牡2 | 55 | M.デムーロ | 堀 宣行 | 2 1/2 | ② | 6 8 7 4 |
| 7 | マイハートビート | 牡2 | 55 | 津村 明秀 | 高橋 義忠 | 1 3/4 | ⑪ | 11 10 14 15 |
| 8 | ウォーターバルフェ | 牡2 | 55 | 酒井 学 | 田所 秀孝 | 1 1/4 | ⑫ | 4 4 3 2 |
| 9 | ロードアクシス | 牡2 | 55 | 三浦 皇成 | 奥村 豊 | 1 1/4 | ⑬ | 8 8 4 4 |
| 10 | シャフトオブライト | 牡2 | 55 | 松田 大作 | 北出 成人 | 1 1/4 | ⑰ | 13 13 11 12 |
| 11 | リュヌルージュ | 牝2 | 54 | 北村 宏司 | 斉藤 崇史 | クビ | ⑮ | 8 7 11 12 |
| 12 | シャルルマーニュ | 牡2 | 55 | 戸崎 圭太 | 清水 久詞 | 1/2 | ⑨ | 6 6 4 4 |
| 13 | フラットレー | 牡2 | 55 | C.ルメール | 藤沢 和雄 | 7 | ③ | 11 10 10 9 |
| 14 | ジュンヴァル口 | 牡2 | 55 | 藤岡 康太 | 友道 康夫 | 1 1/4 | ⑦ | 2 2 1 2 |
| 15 | トーセンクリーガー | 牡2 | 55 | 横山 和生 | 小野 次郎 | アタマ | ⑭ | 4 4 7 9 |
| 16 | ワークアンドラブ | 牡2 | 55 | 内田 博幸 | 浜田 秀孝 | 2 | ⑯ | 17 17 17 16 |
| | トライン | 牡2 | 55 | 北村 友一 | 浜田多実雄 | 競走中止 | ⑥ | 11 11 4 17 |

単勝 ⑦420円 ⑮160円 ⑯230円 ⑰490円 枠連(4-8)1,130円
 馬連 ⑦-⑮1,440円 馬単 ⑦-⑮2,960円 ワイド ⑦-⑮570円 ⑦-⑯1,400円 ⑮-⑯2,840円
 3連複 ⑦-⑮-⑯10,920円 3連単 ⑦-⑮-⑯52,380円

ハロンタイム 12.5-10.8-12.5-11.8-12.0-12.3-12.6-12.8-11.9-12.2
 通過タイム 600m ⑮35.8-800m ⑮47.6-1000m ⑮59.6-1200m ⑮1:11.9-1400m ⑮1:24.5-1600m ⑮1:37.3-1800m ⑮1:49.2

優勝馬 タイムフライヤー

2015.2.1生 父ハーツクライ 母タイムトラベリング 母の父プライアンスタイム
 白老・(有)社台コーポレーション白老ファーム生産 馬主・(有)サンデーレーシング